

「健常成人を対象とした O-17 安定同位体標識水を用いた
眼内水動態測定」に参加された方へ

量子科学技術研究開発機構（量研）では、上記の研究において収集された情報（カルテ、画像、検査のデータ）を用いて、MRI撮像中に生じる不随意眼球運動（意図しない眼の動き）によるMRI画像へのモーションアーチファクトを低減させるための技術的手法の研究を行います。モーションアーチファクトは、撮像中に眼が動くことにより眼の画像がブレたりぼやけたりする現象です。この研究の成果により、眼のMR画像のモーションアーチファクトを減少することができれば、画像の信頼性が向上できる可能性があります。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる方お一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] *In vivo*ヒト眼のダイナミックMRイメージングデータのモーションアーチファクト低減の技術的手法の研究

[実施期間] 研究機関の長の許可日～2025年12月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
分子イメージング診断治療研究部

[研究責任者] 分子イメージング診断治療研究部 小畠 隆行

[研究の目的] *In vivo*ヒト眼のダイナミックMRイメージング研究において、眼球運動アーチファクトを最小限に抑えるため、対象の方の眼球運動と画像後処理に焦点を当てたデータ再解析を行います。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

「健常成人を対象としたO-17安定同位体標識水を用いた眼内水動態測定」（臨床研究実施計画番号jRCTs031210082 <https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCTs031210082>）の健常ボランティアとして同意しMRI撮像を行った方で、二次利用の同意もいただいている方（MRI撮像は2021年6月～2021年9月に実施）。

●利用する情報及び利用方法

MRI画像、年齢、性別、および問診・背景情報をこの研究の解析に利用させていただきます。具体的にはMRI画像の再解析を行い、画像収集後の処理における解析法やその結果より得られた数値の有用性について検討を行います。これらは、厳重な安全管理のもとで保存されている情報であり、新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

扱う情報は既に厳重な安全管理のもとで保存されています。専門家が問診・背景情報を確認することはありますが、内部でのみデータは扱われます。研究成果は、誰の情報であるかわからない状態で発表します。個人名などが表にでることはありません。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

[問い合わせ窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所 分子イメージング診断治療研究部

小畠隆行

電話；043-206-3230（平日；9:00～17:00）